

一般社団法人日本薬学生連盟
2025 年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	萩原 希光
立候補する役職	副会長外務理事
大学/学部/学科	北里大学/薬学部/薬学科
学年	3 年
所属	交換留学委員会、広報部、薬学総合委員会
日本薬学生連盟での活動経歴	2023 年 9 月 一般社団法人日本薬学生連盟入会 公衆衛生委員会所属 2024 年 4 月 交換留学委員会、広報部所属 8 月 薬学総合委員会所属
立候補動機	<p>私は、2023年に日本薬学生連盟に入ってから大学、学年の枠を超えて協力し合い企画を成し遂げる楽しさ、大変さなど多くの学びを得ることができました。学生が主体となり、やってみたいことを叶えられることは非常に素晴らしく、貴重な経験だと思います。運営として携わせていただくことで、微力ながら団体の活動に貢献したいと思っております。</p> <p>また、これまで交換留学委員会において見学係として外部の方とのメールのやり取りや、広報部において外部の方へのインタビューなどをさせていただき、難しい点も多くありましたがとても貴重な学びを得ることができました。これまでの学びを活かして副会長外務理事としての役割を担っていきたいと思い、立候補いたしました。</p>
問題点と改善案	<p>〈問題点〉</p> <ol style="list-style-type: none">1. 企画の参加者が少ない2. 所属していない部門、委員会の活動状況が分からない <p>〈改善案〉</p> <ol style="list-style-type: none">1. 企画の告知を会員メール、HP、Instagram、Xなどでより積極的に行うことで多くの方にご参加いただけるようにします。現状として、HP、Instagram、Xにて企画の告知を行っていますが、企画を紹介するイラストのみを画像として掲載しても企画の雰囲気が掴みにくく、参加するハードルを上げてしまっていると考えます。特に前例がある企画や過去に似たような企画があるものについては、その時の写真を告知の際にイラストとともに掲載し、企画の雰囲気を掴みやすくします。また、会員メールにも企画の告知を流すことにより、通知として届くため自ら HP などを見に行かずとも企画の開催を知ることができ、より多くの方に企画の告知ができると考えます。そうすることにより、企画に参加する会員数の増加、新規会員の増加に繋がります。2. オンラインワークスペースを導入し、全ての部門、委員会の活動状況を会員の方に共有します。タスクを可視化することで何をやればいいのか分かりやすくなり、より多くの方が活動に参加しやすくなると考えます。さらに、多くの方が活動に参加することで、部門統括や委員長の負担を軽減し業務の偏りの改善にも繋がります。
活動計画	<ol style="list-style-type: none">4 月 関係者挨拶、新入生歓迎会5 月 オンラインワークスペースアプリ検討、ルール基盤作成6 月 オンラインワークスペース開設9 月 薬学生ジャンボリー3 月 年会 <p>(通年)メール管理、対外対応、他団体イベントへの参加</p>

<p>所信</p>	<p>私は日本薬学生連盟での活動を通して、多くの貴重な経験をさせていただきました。学生が主体となり企画を作り上げることで大きな達成感が得られることに加え、様々な学生が集まり、企画を行うことができるということは改めて素晴らしいことだと思っております。これまでたくさんの方々と活動を通して交流させていただき、意見を交わすことで自分自身の成長につながるとともに知見を広げることができました。これらの日本薬学生連盟の活動を次の代へと繋げていけるように、副会長外務理事として貢献したいと思っております。</p> <p>具体的には、外部の医療系団体と交流する場を作り、見識を深めるとともに多くの方に弊団体について知っていただけるように努めます。また、社会人の方とも対外関係を構築し、弊団体の活動について雑誌等で紹介させていただくなどお力添えをいただき、知名度を上げられるように尽力いたします。これまでの交換留学委員会の見学係や広報部における対外的な活動で培った経験を活かして、団体と外部の方々の架け橋となれるよう、身を引き締めて臨む所存です。</p> <p>団体を運営していくにあたり、難しい課題も多くあるかと思いますが、できることから一つずつ取り組んでまいります。日本薬学生連盟の活動がよりよくなりますよう、精進いたします。</p>
-----------	---